

水防訓練の充実

立川市

H30.5.20 東京都昭島市多摩川左岸にて、国立市・昭島市、東京消防庁第八消防方面本部、各消防署と合同で水防訓練を実施。当市では団長以下幹部4名、消防団(2・4・6・8・10分団×6名)30名、合計で34名の団員が積土のう工法等の訓練を実施しました。



土のう作りに精出す団員の図



成果物を前に全員集合

水防訓練の充実

昭島市

○東京消防庁第八消防方面・国立市・立川市と合同で、水防訓練を実施



水防演習の充実

小平市

ゲリラ豪雨を想定した水防演習

市内各所で低地域への浸水、道路冠水、家屋への浸水、マンホールからの噴出等被害の発生を想定し、市、消防署、消防団、防火女性の会、災害時支援ボランティア及び近隣自治会が相互に連携を取り、道路、用水、下水等状況把握並びに、基本的な土のう工法を行っている。



土のうステーションの拡充

- ・市民の自主的な水害対策を促すことを目的として、平成29年度より、水害が多い地域のごみ集積所跡地を利用し、「土のうステーション(市内16カ所)」の設置を開始。(土のうの持ち出し自由)
- ・平成30年度には、「臨時土のうステーション」として公共施設(市役所本庁舎及び公民館4ヶ所)に設置。(今後常設となる予定)
- ・平成30年度に市民がより活用しやすい土のうステーションへの更新を実施。(一部試験導入)

平成29年度より設置を開始した
土のうステーション

1袋 約10kg～20kgです。



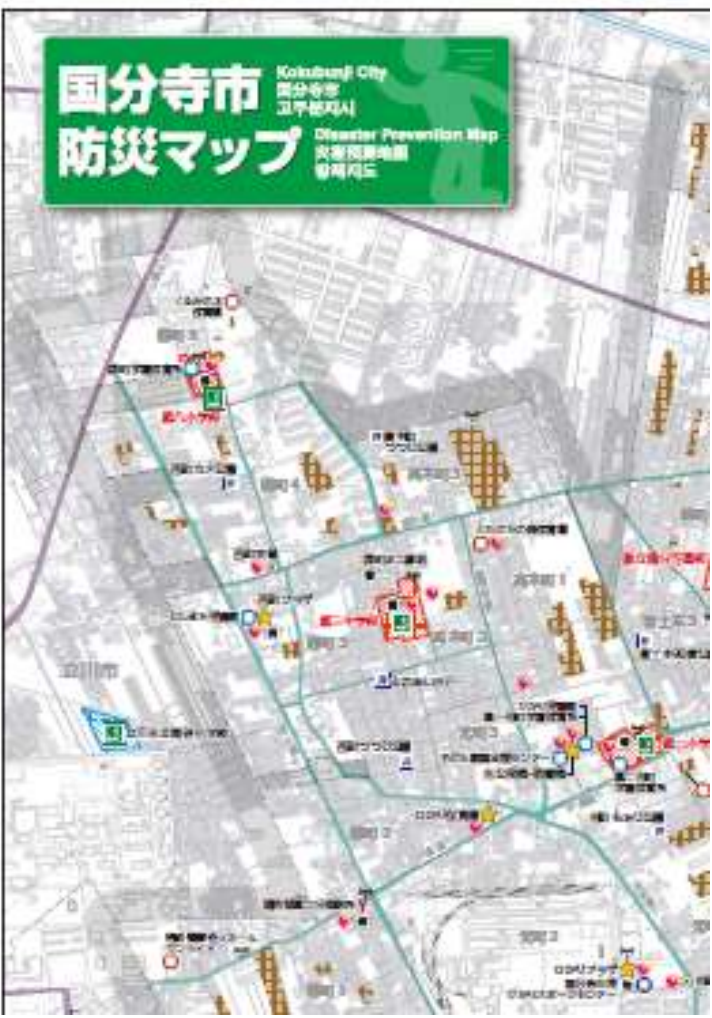
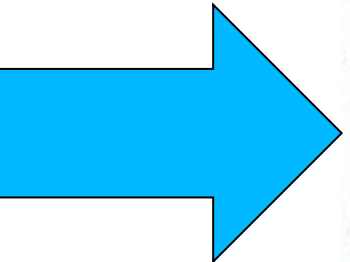
平成30年度には、市民がより活用しやすい土のうステーションへの更新を実施
(一部試験導入)



国分寺市防災・ハザードマップの更新

国分寺市

これまで震災と水害の内容を1面にまとめて掲載していた防災ハザードマップについて、近年の水害の影響を考慮し、それぞれを別のマップとして掲載した。



水防訓練の充実

国立市

・東京消防庁第八消防方面・立川市・昭島市と合同で、水防訓練を実施



東大和市浸水ハザードマップ作成

東大和市

浸水予想区域図を基に東大和市浸水ハザードマップを作成した。
 ハザードマップ作成については市報等で住民に周知し、HP上掲載及び窓口配付を行っている。



水防訓練の充実

東大和市

消防署、消防団、協定機関、自治会等と合同で実践的な訓練を実施した。
理事者も水防活動に従事することで、水防に対する市の『気構え』を市民に伝えた。



水防訓練・防災訓練の拡充

清瀬市

住民がより参加しやすいよう検討するとともに、避難所運営協議会（地域住民）が実際の発災時に迅速な動きが取れるよう住民主導の訓練を実施している。



住民主導による訓練の実施



中学生ボランティアの活動



備蓄食料つかみどりコーナー

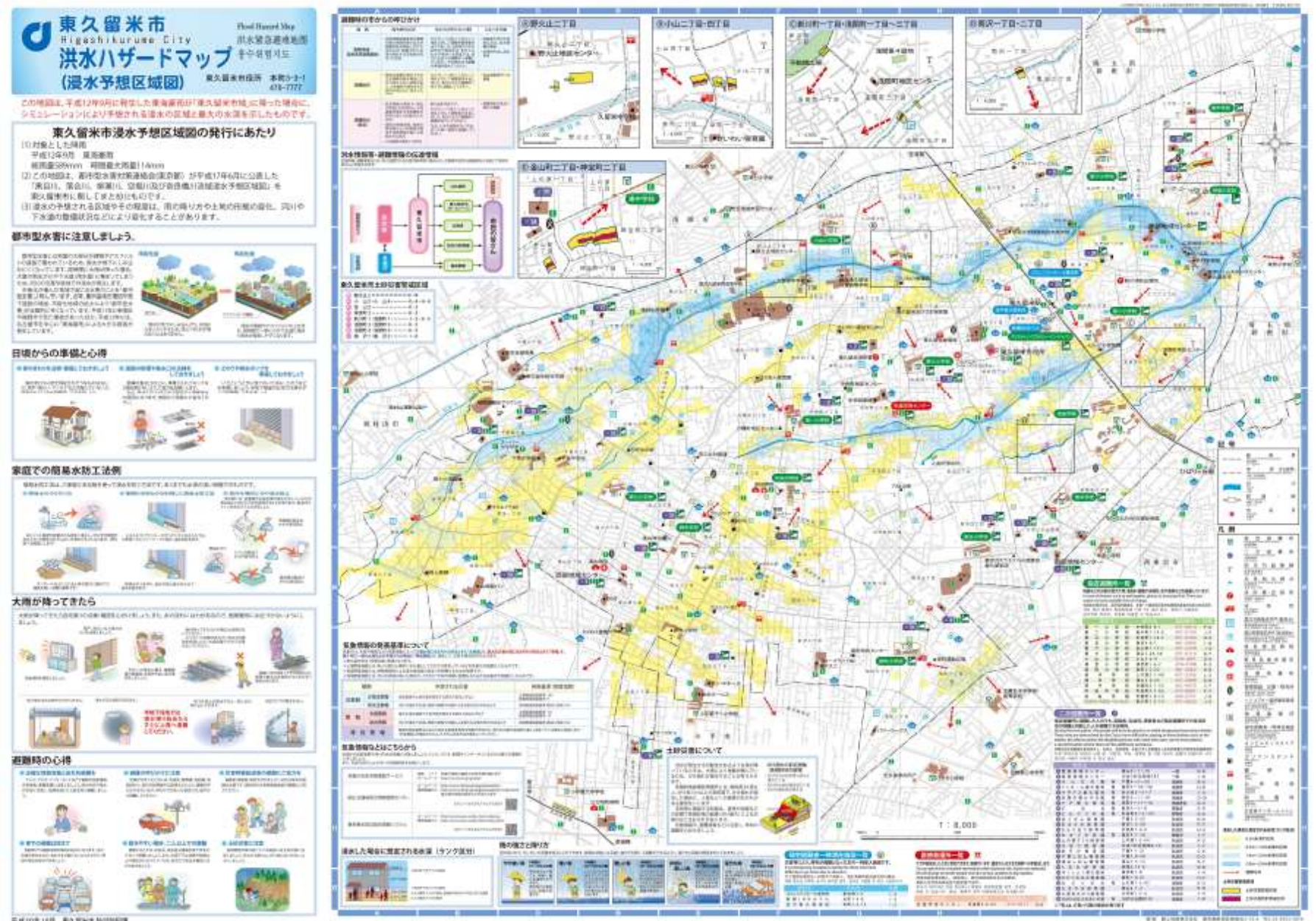


子供にも楽しめる活動

洪水ハザードマップの作成

東久留米市

- 東京都が公表している洪水浸水予想区域図に基づき、ハザードマップを作成
- 今年度新たに土砂災害警戒区域と、主要施設と避難所の標高を表示



- 地域の防災訓練で直接住民配布
- 住民配布する際に水害対策の啓発も行っている

各種水防工法を実施

平成30年6月3日に、武蔵村山市消防団と北多摩西部消防署の共催で、水防訓練を実施した。災害時支援ボランティアにも参加いただき、連結水のうち工法、積み土のうち工法、マンホール噴出防止工法、都市型簡易浸水防止工法等の各種水防工法を実施した。

